

- 問1 日本の国家財政において、2010年度には一般会計歳入の約半分を占めるまでに増大した「公債金」についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 道路や橋などの公共施設を整備するために、民間企業が国に寄付した資金のこと。
 2. 所得税や消費税など、国民が国に対して直接的または間接的に納める税金のこと。
 3. 地方自治体の財政格差をなくすために、国から地方に配分される財源のこと。
 4. 建設国債や特例国債（赤字国債）を発行することで得られる、国の借金にあたる収入のこと。
- 問2 税金は「納税義務者（税金を納める人）」と「実質的な税負担者（税金を支払う人）」が同じか異なるかによって分類されます。消費税のように、商品の価格に含まれる形で消費者が負担し、事業者が代わりに納める税金の分類名と、所得税に適用される課税方式の組み合わせとして正しいものを選びてください。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が低いほど税率が上がる逆進的な仕組みが適用される。
 2. 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が高いほど税率が上がる累進課税が適用される。
 3. 消費税は直接税に分類され、所得税には納税者と負担者が異なる所得の再分配が適用される。
 4. 消費税は直接税に分類され、所得税には所得に関わらず一定の金額を徴収する仕組みが適用される。
- 問3 道路や上下水道などの社会資本は、なぜ主に国や地方自治体といった政府の財政によって整備・提供されているのですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 民間の直接投資を制限し、政府が国内のすべての経済活動を直接管理・運営することが望ましいと考えられているから。
 2. 特定の企業だけが独占的に利用することで、その企業の国際競争力を高めることを主な目的としているから。
 3. 建設にかかる多額の費用をすべて利用者の通行料や使用料だけで賄うことが、法律で厳格に義務付けられているから。
 4. 利益を上げることが難しく、民間企業だけでは十分な供給が期待できない一方で、社会全体の活動に不可欠な基盤だから。
- 問4 日本の租税制度に関する説明のうち、所得税に採用されている累進課税制度の特徴を正しく述べたものはどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 所得が高くなるほど税率が高くなるため、所得の多い人ほど重い負担を負う仕組みである。
 2. すべての納税者に対して一律の税率が適用され、税負担の公平性を保つ仕組みである。
 3. 商品の購入時に所得に関わらず一定の税率がかかるため、所得の低い人ほど負担感が重くなる仕組みである。
 4. 景気の変動に合わせて税率を自動的に上下させ、市場の通貨量を調整する仕組みである。
- 問5 日本の社会保障制度の中核をなす社会保険は、病気やけが、高齢、失業などの生活上の困難に備え、国民があらかじめ保険料を出し合う公的な制度です。このうち医療保険制度における費用の支払いについて、正しい説明はどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 売買の合意のみで契約が成立するように、事前の保険料の支払いがなくても無償で給付が受けられる。
 2. 所得税のみをすべての財源として運営されているため、窓口での支払いは一切必要ない。
 3. 全額を個人の貯蓄によってまかなう制度であり、国や自治体からの公費負担は行われない。
 4. 加入者が支払う保険料や公費を主な財源として運営され、受診した本人は医療費の一部を自己負担する。
- 問6 1970年代中盤から後半にかけて、日本の国家予算における公債金（国債）の発行額が急増しました。この背景にある当時の経済状況と政府の判断について、正しい説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. バブル経済による地価高騰を抑えるために、市場の通貨量を調整する目的で大規模な売却を行った。
 2. 高度経済成長による好景気で税収が余ったため、将来のインフラ整備に向けた基金として積み立てた。
 3. 石油危機による不況で税収が減少したため、その不足を補填し公共事業を継続するために大量発行した。
 4. 円安が進み輸出額が急増したため、増加した貿易黒字を背景に海外への融資を拡大させた。
- 問7 1989年に初めて導入され、その後税率が3%から10%へと段階的に引き上げられてきた経緯を持つ税金があります。納税者と税負担者が異なる「間接税」に分類されるこの税金の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 消費税
 2. 住民税
 3. 所得税
 4. 法人税
- 問8 日本の財政状況を説明した次の文のうち、記述として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 国債費は、国の借金をすべて返済し終えたため、現在の一般会計歳出からは除外されている。
 2. 国債費は、1985年度から2012年度にかけて、公共事業費の増加に伴い4分の1以下に減少した。
 3. 国債費は、国債の元金の返済と利子の支払いを合わせたもので、日本の歳出において大きな割合を占めている。
 4. 国債費とは、主に社会保障の財源を確保するために発行される特例国債の利子のみを指す言葉である。
- 問9 日本の社会保障制度における「公衆衛生」の役割と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 高齢者や障害のある人、子どもなどが安心して自立した生活を送れるよう、施設やサービスを提供する。
 2. 生活に困窮する人々に対し、国が最低限度の生活を保障するために公費から扶助を行う。
 3. 感染症の予防接種や環境衛生の整備を通じて、国民全体の健康を維持・増進することを目指す。
 4. 病気や失業、高齢などのリスクに備え、人々があらかじめ保険料を出し合って相互に助け合う。
- 問10 日本の租税制度において、国に対して納める「国税」であり、かつ、税金を納める義務がある人と実際に税を負担する人が一致する「直接税」に分類されるものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 消費税
 2. 所得税
 3. 酒税
 4. 固定資産税
- 問11 1980年代以降、多くの先進国で「小さな政府」を目指す改革が行われました。この「小さな政府」の考え方が、経済活動の活性化を目的として、国民や企業に対して期待している効果はどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 国民の負担を軽くすることで、個人の消費や企業の投資意欲を高めること
 2. 政府による所得の再分配機能を強化し、国民間の貧富の差を完全になくすこと
 3. 公共サービスをすべて政府の管理下に置き、民間の参入を制限すること
 4. 税収を大幅に増やして公共事業を拡大し、失業者をすべて政府が雇用すること
- 問12 現代の民主主義社会において、税金の徴収方式は「直接税」と「間接税」に大別されます。このうち間接税の仕組みを説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 税金を負担する人と納める人が一致するため、納税者の所得額に応じて税率を変化させやすい仕組み
 2. 税金を負担する人と納める人が異なるため、所得が多い人ほど高い税率を適用し、格差を是正する仕組み
 3. 税金を負担する人と納める人が一致するため、国民が政治に参加しているという意識を持ちやすい仕組み
 4. 税金を実際に負担する人と国に納める人が異なるため、納税の痛税感が和らぎ、税収が安定しやすい仕組み